科　目	健康状態別看護				
時間数	3 単位 45 時間	授業方法	講義	授業時期	2 年
講師名	④湖城均　③濱本光　③水田史子　⑤原和樹　⑤吉岡淳志　③守谷景子　③日野美樹				
実務経験	③看護師（医療機関）　④医師（医療機関）　⑤臨床工学技士（医療機関）				
ねらい	様々な健康状態にある人や家族の特徴を理解し、それぞれの健康状態に応じた看護を学ぶ。				
目　標	1.　急性期にある患者の看護について理解する。 2.　回復期にある患者の看護について理解する。 3.　慢性期にある患者の看護について理解する。 4.　終末期にある患者の看護について理解する。				
授業計画					
回	内容				
1	急性期（周術期）にある患者の看護 　周術期看護とは				
2	手術前の看護				
3	手術中の看護				
4	手術後の看護				
5	手術における安全管理　感染管理　倫理				
6	手術室入室から手術開始までの援助				
7	演習				
8	まとめ				
9	麻酔、疼痛コントロール（全身麻酔）				
10	麻酔、疼痛コントロール（局所麻酔）				
11	回復期にある患者の看護 　ストーマを造設する患者の看護（ストーマ合併症）				
12	演習				
13、14	リハビリを必要とする患者の看護				
15、16	慢性期にある患者の看護：　ストーマを持ち生活する患者の看護				
17	透析療法を必要とする患者の看護（腎不全、心不全）				
18	透析療法を必要とする患者の看護				
19、20	糖尿病看護を必要とする患者の看護				
21、22	終末期にある患者及び家族の看護　：　臨死期の看護　家族の悲嘆ケア（グリーフケア）				
23	エンゼルケア				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して 100 点満点で評価する。60 点以上を及第点とする。				
教科書	臨床外科看護総論、臨床外科看護各論：医学書院 リハビリテーション看護、緩和ケア、がん看護学：医学書院 成人看護学（1）成人看護学総論、（5）消化器、（6）内分泌・代謝、（8）腎・泌尿器：医学書院				